いわき民報

平市田町四八　電三八一番
編輯兼發行人兼印刷人　千輝克巳
日刊　但月曜を除く
定價一月廿五円　一部九十錢
發行所
いわき民報社

設計請負
平土地住宅
有限會社
社長　正木昌次郎
平市田町
電二〇二番

## 輝く榮譽に

# 炭鑛と增炭戰士

## 中央表彰六鑛二十名

二十二年度下期出炭に優秀な成績を示した炭鑛並に個人に對する中央表彰は二十九日午前十時から東京赤坂離宮內で盛大に擧行されるが商工大臣賞の榮譽に輝く炭鑛と個人は平石炭局から左の如くにせん衡、推薦された、炭鑛は六鑛、個人二十名である

◆炭鑛　常磐、壽、上山田、中鄉、神ノ山、植田

◆從業員　採炭夫根本藤重、全猪狩忠雄、全油井廣助、全安齋修吾、全林淸、同大槻忠藏（常磐）採炭夫今井賢一（小田）採炭夫佐川菊太郎（上山田）支柱夫荻谷豊太（壽）採炭夫佐々木喜代治（三松）採炭夫岡部廣（三福）支柱夫大森裕之助（茨城神奈川）採掘工手遠藤正義（中鄉）採炭夫菅野政勝（神ノ山）採炭夫大場久三（重內）採炭夫細川三次（山口）採炭夫手塚武次郎（植田）採炭夫藤田武雄（關本）採炭夫小笠原彌太郎（赤谷）採炭夫山崎重雄（藥師）

---

# 常磐の分離問題再燃

## 全山大越社長の決斷に注目

常磐炭礦の分離問題は經濟力集中排除法の摘用除外に依つて表面的には全く解消したものと見られていたが、舊磐城系の重役であり礦業所長の濱崎善三郎氏の進退問題から再燃—舊磐城系の職員が濱崎所長の辭任を徹回させる一方、職員大會に於て『今後磐城系幹部の進退はすべてわれ等全職員の承認を要するものとなし、正式交涉以外にはその意志は發表せざるものとす』と決議し、再び對立的な空氣をはらんでいる、目下のところ勞働組合は全然關係せず、磐城系職員のみの動きであるから直接出炭に影響を與えていないが、此のまゝ推移すればやがては從業員にも波及するおそれあるため、大越社長の態度は全山から注目されている

### 優柔不斷が原因か

### 濱崎鑛業所長に非難昂る

常磐炭礦の磐城入山系が再び對立的となつた導火線は濱崎礦業所長の進退問題から發したように見られているが、事實は經濟力集中排除法の摘用から除外されてもなお磐城系職員幹部の中に余じんがくすぶり續け礦業所を內鄉町に移せとか、人事問題資材問題など全然容れられない無理難題を持ち出し　自主的分離運動なりと稱してさわぎ廻つていたことに因を發している、これに對し礦業所長である濱崎取締役は何等爲すところなく傍觀全山の統率を缺き　このまゝ放任すれば折角張り切つて增炭を續けている從業員にも波及し重大な結果を招くおそれありと大越社長も尠からず憂慮　重大決意を以て濱崎所長と會見　常磐炭礦の分離に贊成した關係もあり礦業所長としてやり難い點も多いと思うからこの際辭められてはどうかと礦業所統率上の責任を問うた處　濱崎所長もその點を認め集中排除法から除外された以上當然責任を負うて辭めるべきであり、自分としてもその機會を考へていたような状態だから　この際自發的に任意辭任の形式を執つてほしい　と快諾し　事務は圓滿に拾收されるものと見られたが　磐城系職員の要求で一旦辭意を固めた濱崎氏が、前言留保を發表「私は職勞組の意志に　任している」と出勤している爲め今まで靜觀していた舊入山系の職員も動き出す空氣を見せ『濱崎所長の態度が事態を紛糾させるものである』と優柔不斷を非難されてる

---

## 民報論壇

### 產兒制限

日本の領域は戰前六、八萬方粁であつたが戰に敗れて外地租借地、委任統治地の三十一萬方粁を返還したので現在二十八萬九千九百五十方粁となつた、即ち戰前の半分以下に狹められたのである　人口は一九四六年の調査で七千三百一余萬人で明治初年に比較して二倍の增加である、海外引揚げが完了すると一九五〇年には八千萬の人口になるだろうと豫想されている　人口の增加率は最近の平均で千人に付十三人、一ヶ年約百萬人と云はれている

わが石城郡を見ると昭和六年二十五萬余人現在三十一萬余人と增加している　外國の例によれば敗戰國は人口が減るのが普通であるが日本は增加すると云う奇現象を呈している

この狹い地域に食糧難で八千萬同胞がひしめき合つていればわれ〲の生活が樂になるとは思はれないそこで問題になるのは產兒制限である

方法は種々あるがその主なるものはだ胎である然しこのだ胎に對する一般の感情は自然に生れる可愛い赤ちやんを亡くすることは神意に叛くもので罪惡だとしている　宗教的見地から無理からぬ思想であるが、だがこれは明治の御代に至つて海外發展の必要上から人口增殖の政策に基き罪惡論を盾に普及した思想であつて明治維新以前には當地方に於ても「おろ抜き」と稱し大根でも間引きする樣な積りで平氣で實施していたものである

現在國家國民の必要上からこの罪惡感情を拂拭して產兒制限を實施すべき緊急の要に迫まられている　こゝに注意すべきはだ胎は改正刑法でも現存してあり、しかも懲役一年以下に處罰されることになつている、此の法律は時代に取り殘された陳腐なものであり先決問題としてだ胎罪まつ消運動が展開される必要がある

醫學の進步によつて現在だ胎方法は一回の注射によつて容易に實施されるが、實施出來ない主理由は罪惡感情とバーツコントロールに對する智識の不足であるそれで政府は積極的に本問題の解決に當らねばならないのであるが、地方分權が確立している現在では地方に於いても自主的に乘り出していゝ大きな問題で平市等に於てもその道の權威や研究家が協力して產兒制限相談所の如きものを設け人口過剩の惱みを一掃し再建日本の爲に努力するよう提唱するものである（田原）

---

# 七專門委員會を

## 東部炭鑛技術會が

多角的な經營を目指し東部炭鑛技術會では十七日の常任委員會の議決に基いて今度採炭機械化、保安、選炭防排水、地質　土木建築の七專門研究委員會を設置することに決定した、委員は平石炭局石炭協會、縣內二主力炭うほか管內官民の技能者九八名を充てる

---

## 磐女高校で初委員會を

### 濱通高校雄辯連盟

濱三郡高校十七校を丸とする濱通り高校雄辯連盟は　六日原町高校で結成式をあげたが本年度事業計畫決定の第一回委員會は二十三日磐女高で開くことに決定した

---

## ズボン配給

### 引揚者に限り

市では引揚者に對しズボン（古品）を二十七日ごろ配給する、數量二百枚なので該當者の中から選んで配給券を直接本人へ通知する・價格百十六圓

---

# 僞造轉入屆

## 湯本町で三五名發見

平市名を使つた僞造轉出證明書が神戶市で發見され關係者を驚かしたが最近更に湯本町にも山口縣熊毛郡田布町發行名による三十五名にのぼる僞造轉入屆があり各市町村ともこの僞造證明書に俄然注意を拂うようになり福島市發行の僞造も各地で發見されているので窓口の受付けには格別の注意を拂うよう通知も縣から入つている　特に炭う、漁場などを控える當地方では集團的な移動が多いだけに一層注意が望まれ配給受付係も神經過敏になつている

---

6月15日に

## 大浦村長補選

### 二十六日告示

酒井良平村長の死亡に伴つての大浦村長補缺選擧は二十六日告示、六月十五日に執行されることに決つた　立候補者の資格申請期間は二十二日から二十四日までである

---

# 營業停止四軒

## 青果物一齊取締り

平市署では市內の青果物商の一齊取締りを二十一日執行、四十四軒を摘發し　のうち十一軒を書類送檢したが、特に大がゝりにヤミ賣買していた左記四名に對しては營業停止處分にした▲長橋町羽田七五郎（四三）▲才槌小路鷲谷三郎（五六）▲胡摩澤黑木常吉（三四）▲才槌小路村上淸（三五）

---

## 全石炭本部執行委員會

全石福島地方本部執行委員會は二十日午前十時から市勞働會館に開き茨城地區を東北部內にほうがんして單一組合にするか、連絡協議會としてもつてゆくかその他の重要問題に就き審議した

---

# 鮮魚登錄

## 二十五日と決る

市では二十五日一般家庭の鮮魚變更登錄を農業會　農業會第二事務所及び市役所で行うことに正式決定した

---

## 磐城地區の籠球

### 二十三日磐女高

縣五地區對抗籠球大會磐城地區豫選は二十三日午前九時から磐城高等女學校グラウンドに開催するが參加チームは目下十一チームで平クラブFT・常磐炭礦、日水　その他學校チーム等が混つている、縣大會には一般から男女チーム學生から男女チーム合計四チームが出場權を獲待するが、大會は六月十三日福島市で行はれる豫定

---

## 常磐線でまた盜難

二十一日朝方常磐線下り列車內で東京都葛飾區下小松無職鈴木シュウさん（三六）は熟睡中水戶平間で現金七百七十圓預金通帳ほか二點在中の竹製手提を盜まれているのに氣付き平署へ屆け出た

---

即金
衣類一般　御買受
御處分品の御相談は必ず弊店へ……
平銀座ヨコ紅小路　電96番
（梅ノ湯横通）
誠實上値の買受店　大崎屋

---

## 高校古墳群の發掘を見學

### 史談會が23日に

磐城史談會では第八回行事として二十三日午前八時本社前に集合　內鄉町高坂古墳群發掘調査の見學を行うことになつた　右發掘は內鄉町鄉土研究會が明大教授後藤守一慶大考古學教室江坂輝彌氏の指導で二十二日から三日間にわたつて行うもので同自菊地康雄君等の努力によつて實現をみることになつたものである

---

## 馬泥御用

草野村大字原小屋字民の町農市村政美（三五）は二十日夜七時半頃大野村大字大森農古市安男さん（五〇）方から鹿毛五才駒と子馬を馬小屋から盜み出し同村字孤塚の友人宅に隱し自宅に舞戾つたところを草野駐在小林巡査　大浦駐在幕田巡査にスピード檢擧された

---

## 法廷だより

**鮮魚のヤミで**＝江名町大字下神白馬目惣太郎（三八）は鮮魚のヤミ賣買で二十日平簡易裁判所で罰金千圓

---

## いわき寸言

◎浮浪兒謝恩の靴磨　溫い情　そ最も良き補導と知るべし

◎溫い情と安價な同情とは自ら相異ることもまた忘るべからず

---

**街頭賭博で八ヶ月**＝街頭賭博で十八日小名濱署に捕われた前橋市堀川町須田芳男方篠崎勝司（二八）は二十一日平區で懲役八ヶ月の言渡し

---

フレス機仕上
中折　パナマ　帽子
どんな古い帽子でも新品同様になります
丸伊帽子クリーニング店
平市南町一四
電七〇七

五月人形陳列即賣會
お馴染の東京一流の人形師王扇が出張即賣致します
期日　五月二十四日から六月十二日迄
場所　平驛前中央通り世界館側　大和屋酒店內
東京人形問屋　王扇

中古衣類破格販賣
販賣品目
御婚禮江戶褄
モーニング
高級衣裳
その他
お求の際は是非一度御相談下さい
◇春柄若向豐富◇
中古衣類問屋　中央會館
平市南町（平館隣リ）電九一五番

今度電話番號が變りました
新五七〇番
どうぞ御利用願います
マルトモ食堂
平市四丁目電話五七〇番

ダンスパーテー
甘きメロデー
リズムにのせて
湯本に開くタンゴバンドの名花
吉田美夫と其の樂團
所　湯本小學校
時　五月二十二日午後六時

# 高坂古墳群の發掘調査

内郷郷土研究同志會

まえがき

兼て調査申請書を縣を通じて提出中であつたが五月十七日付にて許可になつた。同古墳群の發掘計劃に就てアウトラインを記したが、多忙の爲すい稿のいとまもない。何分の御寛恕を乞う

一所在地

福島縣石城郡内郷町大字高坂字三本杉三十三番地地内

二名稱

明治大學教授後藤守一先生によつて『高坂古墳群』と五月四日名づけられた。

眞光院の東南墓地に近接せる円墳を一號墳と稱し。住吉神社裏に所在する円墳を二號墳と稱する

三現況

古墳の所在地一帶はいわゆる高坂台地にて南に宮川（内郷川支流）が流れ、東は台地續きで台地の切れる所に内郷一中、高坂小學校がある、西も入込んだ淺い谷によつて御殿山に面し、北は台地續きで常磐炭鑛の住宅地になつている

一號墳は眞光院（眞言宗智山派に屬す）の東南に位し、墓地に近接している爲、墓地擴張の進捗と共に消滅するものと考へられる。同寺は常磐炭鑛の從業者を信徒とする故擴張は急速である。直經約二十米、封土の高さ約二米半位の大きさである。

二號墳は眞光院の西約二百米の住吉神社本殿の裏に位し現在は樹木生い繁り、頂上に湯殿山の碑が建ててある。大きさは一號墳よりや丶小さく直經約十五米、封土の高さは約二米位である。これは明治末年に發掘されたと傳へられるが、出土品等は不明である

この台地からは、最近埴部祝部の破片と撚糸文の押捺された土器片を地表採取したが撚糸文は小破片のためき文式か接觸式であるかは不明である。

この台地の古墳は現在二基を殘すのみとなつたが、地形から云つても相當數群をなしていたものと考へられ、大部分は炭鑛住宅の敷地となり消滅したものと思はれる。

四附近の遺跡

該古墳群の南方約一千米（直線距離にて以下同じ）の地點に矢張り祝部、埴部繩文式土器破片を出す枝官台地があり東北方約一千二百米の地點にも前記遺物を出す長孫の台地があり。又北西約一千米の地點に台地續きの田代原の遺跡がある

五發掘調査の動機

本年二月二十一日本會主催の『内郷町の遺跡巡り』の際、學生諸君と該古墳を見學した折、前述の如く、墓地の擴張により周圍が切り崩されて一部は原形を損じているのを見て驚き、次々と行われる墓地擴張によつて消滅せるものと考へられたので、既知の慶應大學考古學研究室江坂輝彌氏に、取りあえず現況を報告し、出來得れば本遺跡を學者の手によつて學術的調査を行い、報告書を作成して、資料として殘したいと考えたので、小會の仕事として、この調査を決定した次第である

石城郡内には平市須釜。横山台。大野村玉山。高久村等各所に古墳群があるが、明治初年以來開墾。盜掘等により破壞されたのは多數であるが學術的に發掘調査の行われたものは皆無であり、円ぷんの内部構造。副葬品の埋葬位置等に就いては殆んど知られていない狀況である。

高坂古ふんは石城郡下に於いては珍しいものではないが無爲に消滅せしめたくないと考える。

六調査の方法

平板測量にて古墳群の配置圖を作製する百分の一の外景圖十分の一の内部實測をなす。

調査の前後に寫眞撮影を行い又必要に應じて撮影する

土取作業は本會員高坂青年團が參加し後藤守一。江坂輝彌兩先生が指導監督する

石郞内の調査は調査員が當る

調査後保存の必要をみとめたるときは速かに復舊する

七調査員

調査員は左の四名である。

明治大學教授　後藤守一先生
慶應大學考古學研究室　江坂輝彌先生
内郷郷土研究同志會　菊池賢雄
同　氷山亘

八調査の時期

自昭和二十三年五月二十二日（土曜日）同五月二十四日（月曜日）三日間

九報告書其の他

報告書は調査終了後一ヶ年以内に作成報告する。責任者は調査員である。

高坂古墳群は史蹟其の他の指定を受けたる事なく又指定を受くべき性質のものとはみとめられない。

今般の發掘調査は文部省の許可を得たる上純學術的に後藤、江坂兩先生の指導監督の下に行うもので、此の調査が完了すれば石城郡の上代史研究に一時代をかくすものと言へよう。

吾等の意のあるところをおくみ下されて、何分の御教示御配慮を賜らん事を切に御願い致す次第である

---

# 正に崩壊の危機に

## 教組平支部の白書に見る

教員組合平支部ではあらゆる惡條件と鬪つて教壇を死守していることを強調する移動展覧會も目下市内各所に開いて行人の眼をひいているがこれと共に市内教育の實際を示した「教育白書」も同支部の手によつて作成され崩壊しようとしている現狀を卒直に示して市民の協力を要望している、以下その教育白書から拾つた市内小、中學校並に高等學校の實狀である

### 全て不足づくめ

### 教員だけで六十四名

先づ教員の現狀何れも四月二十日現在は法定標準人員に對し六四名の不足、教科書を見ると小學校は四九パーセントが未着、中學校は四九パーセント 高等學校三二パーセント未着、設備狀況は最低設備に對する不足は▲教室三九▲特別教室一四▲職員机五二▲生徒机一三一五▲職員い子四七▲生徒いす一一八九▲ガラス七四九六▲戸一一二七▲瓦四四二〇▲壁三〇坪◎黒板三〇◎廊下三一坪◎便所八五◎講堂五

更に教授用品の最低必要量に對する不足量は商業の百パーセントを始め職業九八パーセント、採鑛冶金九四パーセント、土木電氣通信九三パーセント、習字音樂、農業九〇パーセント、八〇パーセント台のものは社會、國語外國語　圖畫工作　體育、家庭、被服、電氣機械科などあり比較的充實した科目の生物六九パーセント、家政七八パーセント、實業五〇パーセントでさい半數の設備すら出來ていない始末である

### 赤字續きの生活

二月だけのでも一九四〇圓不足

三月分の俸給を基礎とした教員の生活費の現狀は平均手取總額一九〇七、圓　總支出額四八五〇圓　六七パーセントに當る一九四〇圓の不足でれを補うため家具衣類の賣却を始め家族の收入、内職、貯金拂戻、生家の補助借金、副業を行つている、また日直料は三圓で法定支給額に對し五、四パーセント、宿直料も同じく三圓、法定支給額四四圓に對し六、八パーセントと云う有様　また實習教師と體操教師に對しては作業並に運動着　運動靴加配米などの特配を希望している、住宅難は教員にも同じで自家四一パーセント、借家四五パーセント、間借一パーセント、下宿その他三パーセント

### 學校給食にも惱み

なお學校給食に對する設備も調理場九〇パーセント、調理用具七〇パーセント、倉庫その他六〇パーセント、運搬用具五〇パーセントの不足、職員は專任職員一人、榮養婦四人の缺員　食費も一人月額四〇圓となつているが二〇圓の不足である、食費免除者は一九九名

---

# 新しい洋服に

## ―男前あげた浮浪兒

## 小さな心にもシヤレ氣は十分

二十日夕刻かねて市社會課佐川主任らが浮浪兒と約束していた新品の服を渡すことになり平市署少年係猪狩婦警も立會つて驛前交番でボロ〳〵な服を脱がせ九人の浮浪兒にお揃の服裝を整えさせた

この日新しい服を貰うと云うので大喜びの浮浪兒たちは市係員の云う事を一々おとなしく聞き「折角良い服を貰つたのだから今晩は入浴しよう」と相談　内磐炭發電所か内郷町の野天風呂に行かうと話合つたが結局遠方だが彼等にとつては氣分の良い内郷の川風呂に入ることとに決　新しい服に素足の格好で中央通りの靴磨場所へ戻り、「新しい服を呉れた小父さん　お禮に靴を磨いてあげよう」とお禮返しの靴磨が始まつた

彼等の話によると市役所で決めて呉れた靴磨場所の驛前丸通市運送店前はいつの間にか大人の本職靴磨が來て追い拂われたと云つおり　今度は新しい服を着たから中央通りの元の場所で仕事をさせてくれと訴える

服が汚れるから前掛けを作る、暑い日は上衣を脱ぐが下着がないと困る　ボロ〳〵の服は作業服として仕事の折着ても良いか　と聞込んで來るがボロ服は着ないでもう一人前の立派な靴磨になつたつもりで働くように下着類は考えてやると彼等の相談にのる

床屋に行つて來た人の坊主頭を見れば虎刈頭だがこれでも一圓の料金は拂つている

新服に素足では困るから主食の配給で百圓前後に減つた郵便貯金を拂戻して履物を揃える　としたが中には塵芥箱からでも拾つて來たか破れ革靴を丁寧に磨ぎあげ光を出しているものもいた　やはりこうしたところを見てもオシヤレ氣分は小さな彼等の頭にもあつた　うち親のない三人の浮浪兒には第一回の主食配給も行はれ今度は衣料切符も交付になり猪狩婦警が預つている

家には親もおり配給もそこで貰つている「通勤浮浪兒」二人を加えた五人とも時々中華料理店に入つたり映畫を見たり放縱な生活をしているため誰れも彼も榮養滿點、新しい服をもらつて大喜び、今度は汚たないと云はれなくとも濟むとニコ〳〵顔だつた

### 謝恩浮浪兒　靴磨の奉仕

新しい服をもらつた浮浪兒たちはご恩返しの意味で二十一日午前十時半ごろ靴磨道具をかかえて市役所を訪れ阿部助役以下吏員一同の靴を磨いて喜ばれそれ〳〵激勵の賃金を戴いて引揚げて行つた

---

### 湯本町のパーテイ

＝湯本町吉田美夫と共の樂園主催で二十二日午後六時から湯本小學校講堂でダンスパーテーを開くことになつた

### 伊東一氏を圍み座談會

市内白銀町青年會では二十九日午後七時半から石島氏宅に伊東一氏を招聘「生命に關して」と論題を中心に座談會を催す

## 浮世様々

**配給米と自轉車を**＝二十一日未明市内材木町醫師江尻伊郎氏(四八)方では物置に置いた自轉車一台と配給米一斗を盜まれた家人が發見　平署へ

**とんだ洋裁見習生**＝市内仲町寶炭業渡邊將福さん(三七)方では去る一八日夕近所の風呂もらいに行つた隙に現金三千圓と白木綿二ヤールを盜まれたが平署の調べで犯人は意外にも妻豐子さんのもとに通う洋裁見習生市内三丁目國ハル子(二八)(假名)の仕業と判り二十一日朝檢擧

**自轉車盜まる**＝夏井村大字菅波農業大和田彌助さん(五四)は去る十九日夜八時頃市内七丁目知人宅で用談中道路に置いた新品自轉車を乘り逃げされた

**リヤカー泥捕わる**＝平地區署手配中のリヤカー泥大野村大字袖玉山農山野邊武正(三三)は十日夕六時頃同村一本橋附近で野良仕事中を大野駐在大場巡査に御用、同人は四月上旬頃同村及び市内からリヤカ各二台を盜んでいたものでほかにも余罪あるらしい

**亂暴な醉どれ**＝大野村大字袖玉山字星作農舟生初男(三五)は去る十八日夜八時半頃同村富士屋旅館で飲酒泥すい　二階座敷から道路目がけて鐵瓶を投げ通行中の同村小泉政夫君(八才)の右腕に全治一週間の傷害を與えて平署へ

**華嚴の瀧で危く救わる**＝好間村大字下好間字今新田佐々木春千代さん(三七)は日光華嚴の瀧で投身自殺を企て危く飛び込む寸前で日光しよ員に救われた旨、二十日平しよに通達があつた　同人は昨年頃平市役所衞生係に働いていた事もあり精神異狀者らしい

專門買受
衣類。洋服。貴金屬
書畫時計高級家具その他
平市大町通り
鈴木商會

精神科
内科
平市搭組小路
アラタメ
新田目醫院
電15

ニュースタイル
早く
親切に

眞空管と部品の卸
上原時計店
平驛降テ左五軒目
電22

機械工具
小道用具
高平商會
平市驛前通白銀町一五

磐女同窓會總會
期日　五月二十三日(日)午前十時より
會場　磐女講堂
會費　五十圓
一、午前中協議　午後余興
二、都合で會員諸姉には一々通知致しませんから多數お誘ひ合はせ御出席下さい
三、辨當、上ばき御持參下さい

◆鍼灸治療御案内◆
親切に叮寧に病氣を治すために的確なる療法に精進して上達に努めております難病不治の病と諦めていられる方も一度御相談下さい
適應症
神經痛、腰痛、肩コリ、リウマチス、脚氣、胃腸、胃けいれん、高血壓、腎臟、心臟、便祕、冷え症、眼耳鼻の病、子供の疳、婦人病、てんかん、淋疾、痔疾
其の他急性慢性諸病
石城郡内郷町大字綴字秋山一一八番地
渡邊鍼灸治療所
（綴映畫館横入りて約一丁）

▽讓アミノ酸醤油工場△
住宅　十九坪　工場　二十二坪
目下操業中、製鹽並に給水製造設備付
委細面談
勿來町大字關田字南町
番場平太
勿來驛より約二十分南へ勿來海水浴場附近

キモノと洋服
高價・親切
買入
平驛前白銀通り
福屋
夏物特に上値でいたゞきます
（配通か金通と印鑑御持參ください）

律洋式脫穀機
小型籾摺機
單相モーター
製繩機
選穀機
セメント
瓦工業
石城郡磐崎村
織内農機店
電話湯本一四八

御入學と御卒業記念に
優秀な萬年筆を
一九四八年型プラチナ萬年筆販賣中
美術石鹸各種入荷致しております
どうぞ御批評下さい
岡萬年筆店
平市三丁目　電三九九

耳鼻咽喉科
高柳醫院
高柳博明
平市驛前（電一一二）